

さっぽろ し こうりつ や かんちゅうがくせつ ち き ほんけいかく
札幌市公立夜間中学設置基本計画【ふりがな版】

I 公立夜間中学の設置について

- 平成28年12月に「教育機会確保法」という法律ができました。

そのため、文部科学省は、全ての政令指定都市¹と都道府県に一つは公立夜間中学をつくるように目指しています。

- 札幌市には、公立夜間中学を必要とする方がいると考えますので、この「基本計画」に書かれているような札幌市立の公立夜間中学をつくりまます。

II 公立夜間中学とは

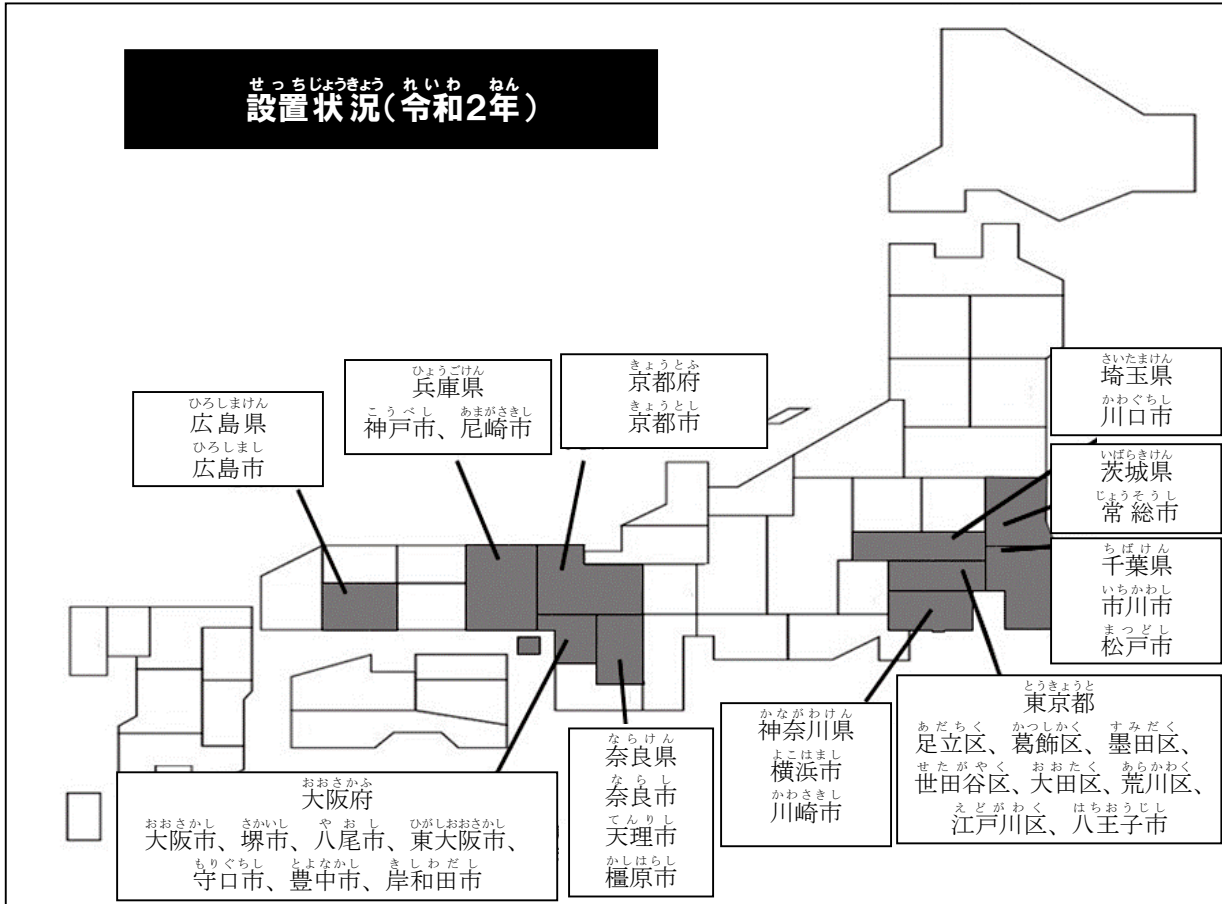
1 全国の公立夜間中学の例

項目	内容
入学できる方	○中学校卒業の時期（15歳になった後の最初の3月）を過ぎた方で、中学校を卒業していない方か、卒業していても不登校などの理由から学び直しを希望する方
教える人	○中学校の教員免許状をもっている先生
学習する内容	○昼間の中学校と同じく、国語、数学、理科、社会などの9教科、道徳、総合的な学習の時間、特別活動 ²
授業する日	○昼間の中学校と同じく週5日 ○夏休みも冬休みも昼間の中学校と同じ期間
授業の時間	○一つの授業は40分で、一日4時間授業 ○17:30ごろから始まり、21:00に終わります
卒業の認定	○決められた期間を学習すれば、中学校の卒業資格がもらえます

¹ 政令指定都市 … 人口が50万人以上で国が定める札幌市のような大きい市

² 特別活動 … 学級活動、生徒会活動、学校行事のこと

2 全国の設置状況



現在、公立夜間中学は、10都府県に34校あります。

最近では、埼玉県川口市、千葉県松戸市、茨城県常総市にできました。そのほか設置に

向けて具体的な検討をしている市もあり、徳島県、高知県にもできる予定です。

3 全国の公立夜間中学の状況【令和元年度文部科学省の調査より】

項目	内容
生徒数	1校あたり平均52.4名です。
国籍	8割の生徒が外国籍です。
年齢構成	10代から60代まで、どの世代もまんべんなくいます。
卒業後の進路	7割の生徒が高校などへ進学したり、就職したりしています。

Ⅲ 公立夜間中学に対するニーズについて（市民へのアンケート調査の結果）

公立夜間中学への入学の可能性のある次の方を中心にアンケートをしました。

- ① 高年齢層 … 戦後の混乱期などで義務教育を終えられていない方
- ② 不登校層 … 不登校などの理由で十分に中学校に通えなかった方
- ③ 外国籍層 … 本国で義務教育を終えられていない外国籍の方

公立夜間中学に通学したいと思いますか

（中学卒業していない方・卒業しても十分に学ばなかった方の人数です。

（ ）の中の数は全ての回答数です。）

回答	高年齢層	不登校層	外国籍層	合計
入学したい・検討したい	10 (27)	14 (30)	11 (207)	35 (264)
入学しない・難しそう	11 (54)	23 (40)	15 (573)	49 (667)

⇒ 高年齢層、不登校層、外国籍層の全ての層に一定のニーズがあるようです。

⇒ 他都市のように外国籍生徒が8割ほどにはならないようです。

入学を検討したい理由はなんですか

【多かった3項目】

	高年齢層	不登校層	外国籍層
①	小中学校の勉強のやり直し	小中学校の勉強のやり直し	日本の文化等理解
②	読み書きの習得	高校等への進学や就職	日本語読み書きの習得
③	社会常識を身に付ける	社会常識を身に付ける	日本語会話の習得

⇒ 高年齢層、不登校層、外国籍層はそれぞれ検討したい理由がちがいます。

IV 札幌市における公立夜間中学の設置に係る基本方針

1 札幌市が設置する公立夜間中学の目指す姿

『生徒の誰もが安心して、学びの主役となれる多様性を尊重する学校』

2 札幌市が設置する公立夜間中学の学校づくりの視点

(1) 一人一人の夢や願いの実現につながる多様性を尊重した学校づくり

項目	内容
ア 多様性を尊重します	国籍や年齢などの多様な生徒が通う良さを生かして、生徒も先生も共に学び合いながら、お互いに多様性を尊重します。
イ 学び直しを実現します	授業の時間や内容を工夫して、小学校の内容も含めて、一人一人に合わせた学び直しを実現します。
ウ 社会で使える「学ぶ力」を育みます	タブレット端末などを活用し、学ぶ意欲と基礎的・基本的な知識・技能を付け、社会で使える「学ぶ力」を育みます。
エ 学ぶ喜びと自信につながるように支援します	先生が生徒の可能性を信じ、生徒の伸びを積極的に認め、生徒の表現を大切にし、生徒が自分の成長を感じることで、学ぶ喜びと自信につながるように支援します。
オ 日本語指導を実施します	日本語に不安のある生徒でも、日本語での学習や学校生活ができるように、日本語指導を行います。
カ 体験学習で社会性を育みます	学校行事を大切にし、卒業後すぐに社会に参加できるように体験的な学習を取り入れて、社会性を育みます。
キ 自分らしい生き方ができるよう支援します	卒業後の進路や将来について考える力を付け、自分らしい生き方を実現できるように支援します。

(2) 生徒の誰もが安心して学びの主役となれる学校の環境整備

<p>こうもく 項目</p>	<p>ないよう 内容</p>
<p>ア 少人数指導体制を 充実します</p>	<p>クラスを分けたり、個別指導や少人数指導を取り入れたりするなど、複数の先生で指導する体制づくりに取り組みます。</p>
<p>イ 学習支援体制を 充実します</p>	<p>学びのサポーターなどのボランティアと積極的に連携して、一人一人に合わせた学習支援体制づくりに取り組みます。</p>
<p>ウ 教育相談体制を 充実します</p>	<p>養護教諭を配置し、スクールカウンセラーなどの専門家の支援を受けながら、教育相談体制づくりに取り組みます。</p>
<p>エ 継続して学校生活が 送れるよう環境に配慮 します</p>	<p>身体的・経済的事情などで学校生活を断念することがないように、施設・設備や生徒が支払うお金に配慮し、就学を援助する支援の実施や給食などの提供についても検討します。</p>
<p>オ 日本語や日本文化の 不安へ配慮します</p>	<p>日本語指導の教材や映像を使った学習や、学校生活の相談に通訳を使えるような体制づくりに取り組みます。</p>



V 札幌市における公立夜間中学の設置の枠組

1 入学できる方：次の全てを満たす方

- ・学齢期（満15歳になった日から最初の3月31日まで）を過ぎた方
 - ・中学校を卒業していない方、または不登校などの理由で十分に学ぶことができなかった方
 - ・原則札幌市内に住んでいる方
- ※今のところ北海道に1校なので、北海道教育委員会からの協力の下に、近隣市町村に住んでいるも受け入れられるように調整します。

2 開校予定：令和4年4月

3 設置形態：単独中学校として開設します

教育活動の充実と独立性を重視して、単独校で設置します。

※国の標準に基づく教職員配置例…学校規模が1学年1学級の場合、中学校併設の二部学級は3～5名、分校は9名、単独校は校長を含めて11名。

4 学校規模：1学年1学級（計3学級）

全国の公立夜間中学の在籍者数の平均が52名程度であることや札幌市で行ったアンケートの結果から、学校規模は1学年1学級とします。

5 設置場所：資生館小学校内に設置します

市内全体からの通いやすさや建物の造りを考えて決めました。

6 修業年限：3年（最長原則6年）にします

じっくり学びたい方のために、長くて原則6年通えるようにします。

7 入学時期：9月まで入学できるようにします

1年の途中から学びたい方のため、4月から9月まで入学できるようにします。

8 編入学対応：中学2年、中学3年から始められるようにします

高校への進学や就職などをめざす生徒に合わせて、2年生、3年生から始められるようにします。

VI その他

1 関係機関との連携

札幌市若者支援総合センターや札幌国際プラザ、自主夜間中学、大通高校などの関係機関と連携して取り組みます。

2 継続的な改善への取組

主役である生徒希望を考え、いつも変化し続ける必要があります。開校した後も学校評議員制度などを活用し、より様々な関係者の意見を聞きながら改善に取り組みます。

3 研修体制の整備と他の市立学校への理念の普及

夜間中学で働く教員への研修を充実させるとともに、他の市立学校教員への研修や小学校などと人事交流をするなどし、夜間中学の理念の普及や教員の資質の向上に努めます。

4 市民への広報・周知

適切な時期に説明会を開いたり、外国語のパンフレットを作成するなど対象となる方やその周りの方に届く情報提供を進めていくとともに、夜間中学を広く理解していただくことを目的に市民への広報も行います。

